

福岡

■ ワイド

健全な食生活をめざして

食物が健康に与える効果を過度に信じる「フードファンデイズム」について考える筑紫女学園大の公開講座「健全な食生活をめざして」ともに「くり・食べ、生きる」(同大短期大学部現代教養学科主催、西日本新聞社など後援)が26日午後2時から、福岡市天神のエルガーラホールで開催される。参加無料。

筑紫女学園大
26日、公開講座
福岡市・天神

講師は群馬大教育学部で講演する。

の高橋久仁子教授(食物学)。また、こうした傾向を「学」・メディアで盛んに背景に、女性が「食事

女性負担軽減の視点で

取り上げられる「安全委は私がしっかり担わな

心」や「健康」といったいと」という強迫観念

キーワードが、消費者のに駆られることの問題点

食物への「過剰な思い込を、男女共同参画の視

点を招く危険性について点から提言する。高橋

85。

教授は「食事を作るのは女性の役割という社会通念が根強い。日常食は質素で十分なので、女性任せではなく一人一人が責任者だと認識

してもらいたい」と話し

一人が責任者だと認識

してもらいたい」と話し

してもらいたい」と話し

してもらいたい」と話し

してもらいたい」と話し

してもらいたい」と話し

してもらいたい」と話し

してもらいたい」と話し

してもらいたい」と話し

してもらいたい」と話し

してもらいたい」と話し

してもらいたい」と話し

してもらいたい」と話し

してもらいたい」と話し

してもらいたい」と話し

してもらいたい」と話し

してもらいたい」と話し

してもらいたい」と話し

してもらいたい」と話し